

推進会議の意見を受けての市の対応（H28）

【推進会議の意見】	担当課	H29事業予定・意見を受けての考え方等
<p data-bbox="231 541 664 583">「自治基本条例の認知」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li data-bbox="216 695 1193 856">• 小中学校の児童生徒の保護者にあたる、30代、40代、50代の世代に向けた取り組みが必要。漫画や寸劇などを取り入れるなど、自治基本条例が身近なものとして浸透する必要がある。</li> <li data-bbox="216 898 1193 982">• 自治基本条例を浸透させるためには、全庁的に意識付けを行う必要がある。</li> <li data-bbox="216 1024 1193 1150">• 自治基本条例の認知媒体として「広報こしがや」の割合が大きい。「広報こしがや」以外の媒体で、どのように周知をしていくかを考えていく必要がある。</li> </ul>	<p data-bbox="1353 846 1475 888">政策課</p>	<p data-bbox="1620 541 1905 583">【H29事業予定】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li data-bbox="1605 583 2778 667">• 平成22年度から引き続き、新採用職員研修のメニューの1つとして研修を実施</li> <li data-bbox="1605 667 2778 783">• 子ども版パンフレットを増刷（7,500部）、引き続き市内小学校6年生全員に配布し、社会科の授業（公民分野）での活用を依頼予定</li> <li data-bbox="1605 783 2576 825">• 市内高校生を対象に、意識啓発の取り組みを実施予定</li> </ul> <p data-bbox="1620 867 2053 909">【意見を受けての考え方】</p> <p data-bbox="1605 909 2778 993">自治基本条例を制定してから7年が経過した中、市民の関心の高まりが十分でないと考えられる。</p> <p data-bbox="1605 993 2778 1119">自治基本条例が市民の生活とどのように関わっているのかが想像しづらいこと等が、自治基本条例への関心が高まらない一因であると推察される。</p> <p data-bbox="1605 1119 2778 1203">推進会議からの意見も取り入れながら、若年層へのアプローチなど、新たな取り組みを進めていく。</p>

# 【参考資料1】

「参加」を推進するための施策への意見	担当課	H29事業予定・意見を受けての考え方等
<p data-bbox="231 422 923 470">「審議会等における女性委員の割合」</p> <ul data-bbox="216 905 1193 1150" style="list-style-type: none"> <li>• 様々な方から応募いただくため、審議会等の公募委員の応募要件を、800字の作文ではなく、応募動機を尊重した、もう少し手軽な応募要件すべきである。</li> <li>• 参加を浸透させるためにより工夫をしていく必要がある。</li> </ul>	<p data-bbox="1258 709 1570 789">人権・男女共同参画推進課</p>	<p data-bbox="1614 422 1908 464">【H29事業予定】</p> <ul data-bbox="1605 464 2772 705" style="list-style-type: none"> <li>• 引き続き、審議会の改選時期に合わせて、女性登用について各課に対し個別に働きかけを行う(事前協議)</li> <li>• 市民（チャレンジリスト登録者）に審議会委員の公募に関する情報提供を行う予定</li> <li>• 審議会等への女性の参画を支援するための講座の開催（男女共同参画支援センター）</li> </ul> <p data-bbox="1614 747 2050 789">【意見を受けての考え方】</p> <p data-bbox="1605 789 2772 953">現在、審議会等の公募委員の募集要件は、800字以内としている。さまざまな方からの募集を考慮してしたうえで、文字数の制限を以内としている。今後、女性委員の登用推進を図るため、募集要件について検討していきたい。</p> <p data-bbox="1605 953 2772 1079">また、事前協議等、女性の登用について積極的な働きかけを行っているが、登用率の目標値には未だ届かない状況である。目標値に向けて一層積極的な取り組みを進めていく。</p>
<p data-bbox="231 1583 834 1625">「市長とふれあいミーティング」</p> <ul data-bbox="231 1766 937 1808" style="list-style-type: none"> <li>• 1回あたりの定員を増やすべきである。</li> </ul>	<p data-bbox="1317 1713 1516 1755">広報広聴課</p>	<p data-bbox="1614 1587 1908 1629">【H29事業予定】</p> <ul data-bbox="1614 1629 2050 1671" style="list-style-type: none"> <li>• 年間10回程度開催予定</li> </ul> <p data-bbox="1614 1713 2050 1755">【意見を受けての考え方】</p> <p data-bbox="1605 1755 2772 1881">市長とふれあいミーティングについては、現在、団体等への訪問に力を入れている。参加人数については、訪問先の団体等と調整して決めている。</p>

## 【参考資料1】

<p>「防災訓練の参加者数」</p>	<p>危機管理課 消防本部予防課</p>	<p><b>【H29事業予定】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・防災訓練の取組として、地区との協働による総合防災訓練と各単位自治会や合同での地域の防災訓練があり、総合防災訓練については、昭和57年度から継続的に実施しており、今年度は、10月15日（日）に出羽地区との合同総合防災訓練を実施予定</li> <li>・地域の防災訓練については、指導や協力などの活動支援を実施予定</li> </ul> <p><b>【意見を受けての考え方】</b></p> <p>地域の実情に応じた効果的な訓練内容や参加しやすい環境整備が図れるよう、積極的に活動支援に努めていく。</p> <p>また、平成28年度に地震体験車を小型化し更新していることから、多くの自治会等の消防訓練に使用することが可能になると考えられる。また、再現地震に東日本大震災、想定首都直下地震及び想定南海地震を追加するとともに、震度5以上で緊急地震速報を鳴動させ、室内に設置した42型ディスプレイで転倒する家具等の映像と連動して地震体験をすることによって、より実践的な地震体験ができるようになったと考えられる。</p>
<p>「ボランティア登録者数」</p>	<p>福祉推進課</p>	<p><b>【H29事業予定】</b></p> <p>ボランティア活動の推進に係る事業費として、越谷市社会福祉協議会に対し、助成金を交付する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ジュニアボランティアスクール</li> <li>・青少年ボランティアスクール</li> <li>・福祉教育活動研修</li> <li>・福祉体験学習</li> <li>・ボランティア入門講座</li> <li>・ボランティア大学</li> <li>・ボランティア専門講座</li> </ul> <p><b>【意見を受けての考え方】</b></p> <p>社協だよりやホームページ、メール等を活用し、随時、ボランティア依頼等の情報提供を行い、新たな個人ボランティアの登録者として、若い世代や元気な高齢者を活動につなげることができるよう努める。</p>

## 【参考資料1】

<p>「学生議会」</p>	<p>議事課</p>	<p><b>【H29事業予定】</b>            ・模擬議会は平成22年度から平成24年度、平成26年度、平成28年度と隔年で開催しており、平成29年度の開催予定はない</p> <p><b>【意見を受けての考え方】</b>            平成30年度に開催することが決まった場合には、開催方法等を検討する。</p>
<p>・若い世代にまちづくりに関心を持ってもらうため、予算面や施策の工夫等、より一層力を入れていただきたい。</p>		

<p>「協働」を推進するための施策への意見</p>	<p>担当課</p>	<p>H29事業予定・意見を受けての考え方等</p>
<p>「地区まちづくり助成金活用事業数」</p> <p>・事業数が増えない理由が予算上の制限であるのであれば、予算を増やすための何らかの提言をする必要がある。</p>	<p>市民活動支援課</p>	<p><b>【H29事業予定】</b>            ・新規事業12事業、拡充事業11事業を含む426事業を実施予定</p> <p><b>【意見を受けての考え方】</b>            地区別将来像を実現するため、地区の特色を生かした新規・拡充事業の積極的な提案を呼びかけ、また、既存事業については、達成度など十分に精査し、事業の統廃合も進めている。            一方で、財源確保の一環として、自主財源の確保もお願いしており、コミュニティ推進協議会等の事業の質の向上や活性化に努めている。            今後は、高齢者福祉事業や防災事業など、事業内容を絞った予算の確保などを検討していく。</p>
<p>「市との協働」</p> <p>・市と協働したいと思った時に、どのような窓口で相談すればいいかということが分からないことがあるため、組織の役割を明確にするべきである。</p>	<p>市民活動支援課</p>	<p><b>【意見を受けての考え方】</b>            市民活動団体の活動は、子育て支援、高齢者福祉、環境など多岐にわたっているが、その相談窓口は、市民活動支援センターおよび市民活動支援課と考えている。今後も、全庁的に協働のまちづくりを進めていく。</p>

## 【参考資料1】

<p>「自治会加入世帯数（加入率）」</p>	<p>市民活動支援課</p>	<p><b>【意見を受けての考え方】</b> 自治会未加入世帯に対する様々な働きかけについては、マンション管理組合からのアプローチとして、平成28年度に越谷市自治会連合会と連携して、マンション管理組合を対象としたコミュニティに関するアンケート調査を行った。 平成29年度についても、引き続き越谷市自治会連合会と連携して、マンション管理組合等からの切り口でコミュニティの実態把握等を進めていく。</p>
<p>・自治会に加入していない、マンションやアパートに長く住んでいる方に、協働に携わってもらい働きかけをしていく必要がある。管理組合や市民活動団体からのアプローチも有効と考える。</p>		

<p>「情報共有」を推進するための施策への意見</p>	<p>担当課</p>	<p>H29事業予定・意見を受けての考え方等</p>
<p>「広報こしがや」</p> <p>・世論調査で「わかりにくい」と答えた人に、どの部分がわかりにくかったかを聞くべきである。</p>	<p>広報広聴課</p>	<p><b>【H29事業予定】</b> ・18歳以上の市民5,000人を無作為抽出し、郵送で調査を行う予定</p> <p><b>【意見を受けての考え方】</b> 平成28年度の調査において、広報こしがや「お知らせ版」、「季刊版」について、「わかりにくい」と答えた方に「どのような点についてそう感じたか」を聞いた。</p>